

東京都内の「電車・駅での痴漢」・「盗撮」被害と対策についての調査結果 【自由記述に書かれた被害】の抜粋、分析のまとめ

痴漢被害の具体的な被害や状況について

- 沢山ありすぎて、書ききれません
- つらいので書けません
- 被害に遭ってから随分と長い年月が経ちましたが今でも詳細を人に説明したりこうして文章におこす事にも非常に痛みを伴うのであまりはっきりとした表現はできません。
- 小学生の時、毎日のように痴漢にあっていました
- 高校生の時に朝の通学時間帯、混雑している中に乗車しドア前に立っていたところ、ドア右手側に立っていた男性に性器を押し付けられた。少し体の位置をずらしたが、その後も腰を前に出してわざと押し付けているようだった。満員だったこと、勘違いだと言われて取り合ってもらえなかったらと考えて声をあげることができなかった。
- 高校生の時（2014年春）、朝の横浜線満員電車に乗り込んだのとほぼ同時に、身動き取れない状態で前方の男性が制服のスカートの中に手を入れ、下着の上から性器を執拗に撫でてきた。最初は電車に乗ってすぐのいきなりのことで、何が起きているのか分からず、自分の股間に挟んでいたトートバッグが自分の股に当たっているのかなと思った。その日は高3の登校初日だった。ものすごくショックだったけど、何食わぬ顔で授業には出なければならなかった。
- 足がつかなくなるほど満員の南北線でスカートの下から女性器に指を入れられた。
- （高校3年生の時に、スカートの中に）射精された。体液は手と制服のスカートについた。それから学校に向かったが、どうやって行ってどう過ごしたのか全く記憶がない。この出来事は、あまりにショックが大きく、高校卒業後3年してようやく思い出した。・・・こうした出来事は、高校卒業後の自分の精神に大きな影響を与え、男性への苦手意識があるので社会生活も難しくなり、引きこもりがちになった。今でも1人の時は思い出してしまうため、月に一度は必ず、そうした性被害を相談できるクリニックを受診している。
- 社会人一年目で通勤中の電車で痴漢に合いました。金町から大手町までショーツの中に手を入れられました。相手は背中に刃物のようなものを突き出して怖くて声も出なかったのを今でも覚えています。あれ以来通勤電車のみならず電車が苦手になりました。仕事もやめざるをえなくなりました。あの時痴漢にあってる事を周りが気づいていても、男性の方々はほとんどの方が見ぬふりをしていましたが、一人の女性の方がこの人痴漢ですと大声を出して助けてくれました。本当にありがたかったです。
- 目の前（対面）に座った人のズボンの裾から大幅に男性器が見えており、混乱してしばらくは動かなかった。その後別の座席に移動した記憶だが、あまりにびっくりして咄嗟に何も考えられず行動できなかったことを覚えている。

- すみませんとぶつかったふりして胸をつかまれました。うっかり電車の死角に追いやられてしまった。いつもはなるべく真ん中側にいくのだが、相手が壁になる位置についてしまった。謝りながら何度も触られて降りる時に痴漢だと騒いだら追いかけられたので、改札まで走ったら、逃げた。追いかけられた時はマジ怖かった。
- 電車での痴漢は数えきれないほどあります。座っていると隣の男性の手が太ももに当たったので反対側にと、またその手がどんどん太ももに近づいてきて、意図的に触っていたことがわかった。
- 電車で盗撮・触られた後トイレに引きずり込まれ性暴力を受けました
- 被害にあったのは高校二年生のときでしたが、その時何もできず耐えるしかなかったことと、その悔しさや怒りを5年経った今でも覚えています。
- 初めての痴漢は、地下鉄東西線、朝のラッシュ時、腕も動かせないほど混んでいる車内で恥骨のところにコンコンコンと何かを当てられた。偶然カバンか何か当たってるのかと思ひ身体をよじって避けたら、すぐに向こうの動きも着いてきた。その時初めて隣の男が指で恥部を叩いているのだと気付いた。それまでは、痴漢なんて大声出すか指を思い切り折り曲げてやればいいじゃないなどと思っていたが、実際に目の前にいると恐怖で声も出せなかった。
- 駅のエスカレーターで、後ろから精液を掛けられた。
- 帰宅中、乗り換え時に中年男性に目をつけられ、こちらを凝視するので電車が来てから並んでいたところは別の車両に乗った。しかし、乗車後周りを見たらひとつ隣のドアから入って来ていてまたこちらを凝視していた。怖くなり2つ後の駅で1度降りて後続の車両に乗り換えようとしたら着いてきて、早足で振り切り、見当たらないことを確認して数本後の車両に乗った。次の駅に停車した際ホームを見たら待ち伏せしており、最寄り駅を知られたら危ないと考えそこで降りてトイレに20分ほど隠れ髪型を変えたり上着を脱ぐなどして見つかりづらいように工夫した。再び乗車し最寄り駅の1つ前の駅である次の駅に停車するとまたホームで待ち伏せしており、またこちらを認識したようだったので駅員に助けを求めようと降車した。その後その男が見当たらなくなり、駅員に駅前の交番を紹介され向かおうと改札を出たらキョロキョロと何かを探す仕草をしている男がいて、慌てて交番に駆け込んだ。
- 座席が全て埋まって何人か立っている状態で、ドア近くで立っていた。視線を感じたので振り返ったら目が合い、体をぶつけてきたので移動したところ、追いかけてきてまたぶつかった。
- 複数人に囲まれて股の間に足を入れて持ち上げられたり、逃げても電車の揺れに合わせて性器を押し付けてきた
- 満員電車の埼京線で、結婚式帰りにチューブドレスを着ていたら、周りを数人に囲まれ、服を下に引っ張り脱がされそうになった

盗撮被害の具体的な内容について

- 立って乗車していたら、私の足の間に相手のトートバッグをねじ込まれて、トートバッグ内にはカメラのレンズが確認できた。
- （電車の）隣の席から堂々とずっと動画を撮られていました。怖くて何も言えませんでした。
- 女子高校生の頃、通学のため空いている電車で立っていたところ、向かいに座っている男性が私の方に携帯を向けてシャッターを切った。勘違いかもしれないが気味が悪かったため、元いた場所から移動した。しかしもう一度シャッター音がしたため振り返ったところ、明確に私の方を向いて携帯を構えていた。
- 中学の時駅の下りエスカレーターで私の一つ後ろの段にスカートがかぶる様にわざと紙袋を置かれて盗撮された。また紙袋を取るふりをしてスカートを捲られた。
- 電車を待つホームで、並んでいた後ろからスカートの中を盗撮された。すぐに逃げられた。ずっとムービーで撮られていたことがある。気持ちわるい。
- 図書館の本棚前で本を探していたとき、隣に男性が来てしゃがんで本を探しているようだったが、後方、下からスカートの中を撮影された。
- 大学近くの横断歩道ですれ違いざまに急に写真を撮られた。
- 飲食店でトイレタンクにカメラをこちらに向けて置いてあるスマホがあり、これも最近盗撮の手口だったと知った。

痴漢や盗撮について友達や学校で話が出るか、また状況について

- 「高校一年の頃友人が痴漢にあったと怯えて学校に来たことがありました。他にも一度、友人づてに痴漢にあった子がいると聞いたことがあります。その子は拒否した結果、暴言を投げられ、学校を休んでしまったといます」
- 「登下校で痴漢されたという話は珍しくありません。被害にあった子を友達みんなで慰めます」
- 「何度も中学高校の始業前に、その日の通学中に遭遇した痴漢の話を友達に聞いた。下着の中に手を入れられショックで泣きながら話している子もいた」
- 「高校の時に電車に降りた後に友達から『怖くて言えなかったけどさっき触られてた』と言われた。放課後に友達と話しているときに『今日痴漢に遭ったから駅員に言った』と話題が出た。しょっちゅう話題に出ます。私はなかなか言い出せませんが」
- 「みんな冗談のように話すけど、みんな笑ってないしその被害に遭った女の子も強がってるのがわかる。でもなんで言えば良いかわからないし、怖かったって言ったら悲しい気持ちを肯定してしまって悲しい気持ちで満たされてしまうので、どうすれば良いかわからない」

痴漢や盗撮をなくすための対策について「その他」によせられた声

●ポスターについて

- ・女性にたいして「気をつけて」という内容のポスターをよく目にします。被害者に注意喚起しても効果は薄いですし、被害者へのバッシングにつながるのをやめていただきたいです。
- ・女性に向けて痴漢にあわないように気をつけて、という啓蒙ポスターをよく見かけますが、加害をしないでというポスターに変えてください。
- ・「痴漢は犯罪、許さない」というポスターをつくってください。痴漢は被害者の問題ではなく、加害者の問題です。
- ・ポスターは女性に落ち度があるような内容ではなく、加害者を糾弾してほしい。ポスターや対策にちゃんと女性が携わってほしい。

●駅員や警察の対応について

- ・被害届けを出す際に、実際の現場を再現しなければならないというのが本当に良くないです。絶対にやめてほしいです。トラウマをもう一回、しかも人前で披露して経験する屈辱ほどひどいものはありません。
- ・通報時や被害届提出時の駅員や警察官による二次被害（セカンドレイプ）の防止。被害発生時の対応についての研修の徹底。
- ・痴漢を目撃した際に駅員に知らせましたが、対応してくれなかった。
- ・痴漢が発覚した際、警察は示談にもっていこうとすることが多い。自分はそれをやられ、被害届すら受理してもらえなかった。
- ・女性の駅係員の増員。相談窓口で二次被害が起こらないよう、相談対応技術を継続的に学べる体制の構築。専門性の担保。

●学校や教育について

- ・第一に性教育・人権教育が必須である。親や教員に相談しても「スカートが短いから」「隙があったから」など被害者の責任にされることがほとんどという現状。
- ・中学、高校生の頃は被害にあっても親にですら言えないです。どの場所でどんな被害にあったか、報告できたり相談できるシステムがあったらと思います。特に学校などで周知してほしい。加害のほうも、やめさせられるような抑止力となるようなものが必要。学校でも教えるとか。
- ・次世代のためにも性教育・人権教育・ジェンダー平等の意識を拡大させてほしいです。
- ・小学生だと痴漢だと気づけないので、事例をちゃんと教えてあげてほしい。

●周囲の第三者について

- ・駅で痴漢に遭っても全然周囲の男性や大人は助けってくれません。叫んでも犯人が逃げ切つて泣き寝入りということがある。
- ・周囲の第三者に対して、痴漢行為を見つけたらすぐ駅係員に伝えるは大切な行為であり、むしろそれが当たり前なのだと啓蒙していくのが大事だと思います。
- ・見て見ぬふりをせず、周りが積極的に助ける空気の醸成も必要だと思います。
- ・痴漢、盗撮を見つけた場合、どのように被害者を助けたらよいか、安全に助ける方法とその周知。

●SNSやAV等、盗撮用カメラについて

- ・ペン型や時計型などあらゆる小さな盗撮用カメラが開発され、市場に出回っています。販売不可、開発や使用に申請が必要等、取り締まってほしいです。
- ・盗撮の投稿雑誌や投稿AV、ネット動画など、盗撮を助長したり、盗撮に金を出すようなことを社会として禁止してほしいです。
- ・インターネット上での「痴漢加害自慢」や「痴漢加害情報共有」に対して、「あなたがしていることは犯罪です」という警告文を送付する。痴漢OK娘なんて言葉があるくらい、「触ってほしそうな子だったから触ってあげた」や「向こうから擦りつけてきた」等、認知の歪んだツイートなどもありますし、大きな電車遅延が発生したときには混雑にまぎれて触るため、わざと混雑駅へ行くなんていうのも見かけました。
- ・SNS等で盗撮画像を自慢しているアカウントの捜査・逮捕・実名報道
- ・インターネットでは痴漢や強姦をする仲間を募集しているサイトや、痴漢加害を自慢し報告するツイッターアカウントもあるが、完全に放置されている。一体警察は何をやっているのかと思い、不信感が募る。

女性専用車両に関する要望

特徴的な内容は3点です。

●女性専用車両の導入の時間・路線・車両数を増やしてほしいという要望が最多

- ・「通勤時間帯だけではなく常時設置してほしい。痴漢被害や暴力行為は満員電車じゃなくでも発生するので」
- ・「全ての路線に女性専用車両が必要だと思います。また、朝だけでなく、学生や社会人の帰宅時間（15～21時頃）にも必要です。痴漢被害に遭ったうちの7割くらいは、帰宅時のことでした」
- ・「夜にも導入してほしい」
- ・「女性専用車両が他車両に比べて酷く混むため、利用できない場合も多い」

●2番目に多い特徴は、女性専用車両がある理由の周知、専用車で嫌がらせする人への対応を望む声が多い

- ・「嫌がらせの男性が乗ってきた時にすぐに駅員に連絡できる方法が欲しい」という声が63人もの方から寄せられました。
- ・「男性差別だ」と主張する人に対し、鉄道会社が詳しく女性専用車両の趣旨や意義を説明することに責任を持ってほしいです。痴漢の加害者ではなく、被害者や被害を恐れる人に非難の矛先が向くのはあまりに理不尽ですし、利用したくても足が重く感じてしまいます」

●女性専用車両の位置改善は切実。また、遅延などで混雑する際に女性専用車を中止することをやめてほしいという声も

- ・「端っこにあることで利用を諦めることがあった」
- ・「路線が混雑する状況になると女性専用車両が解除されるが、混雑する時こそ解除しないでほしい」